

簡易水洗便器専用便槽

特に注意していただきたいこと

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。便器の取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

- 注意**：取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 警告**：取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的傷害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告	排気扇の電源プラグはがたつきの無いよう、根元までしっかり差し込んでください。 接触不良による火災の原因になります。	排気扇の電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
	排気扇の電源コードには重いものを載せたり、加熱したりしないでください。 電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。	交流100V以外では使用しないでください。 感電・火災の原因となります。
	排気扇の電源プラグを抜くときは、コードを持って抜かないでください。 芯線の一部が断線して、火災や感電の原因になります。	修理技術者以外の方は、排気扇などの電気部品を絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 発火したり、異常動作してけがを分解禁止することがあります。

注意	電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。 資格の無い人が電気工事をするのは法的に認められておりません。	マンホールのひび割れ・破損等を見たら直ちに取替えてください。 転落・傷害の生ずる恐れがあります。
	排気扇の電源は防水型コンセントをご使用ください。 漏電や感電事故を招きます。	槽の吊り上げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽の下には立ち入らないように安全を十分に確認して作業してください。 傷害事故の生ずる恐れがあります。
	給水タンクからのオーバーフロー配管は内径20以上で施工してください。 給水が止まらない場合に、あふれて他の家財を濡らす原因となります。	据付け後の水はり時、槽本体に直接のると滑りやすく落下する危険があります。 足場板等を使用し注意して作業してください。 転落事故の生ずる恐れがあります。
	施工中は、必要なとき以外はマンホールを必ず閉めてください。 転落・傷害の生ずる恐れがあります。	埋設工事に際して、穴を掘った周囲には防護柵をつくり、関係者以外立ち入らないようにしてください。 転落事故の生ずる恐れがあります。

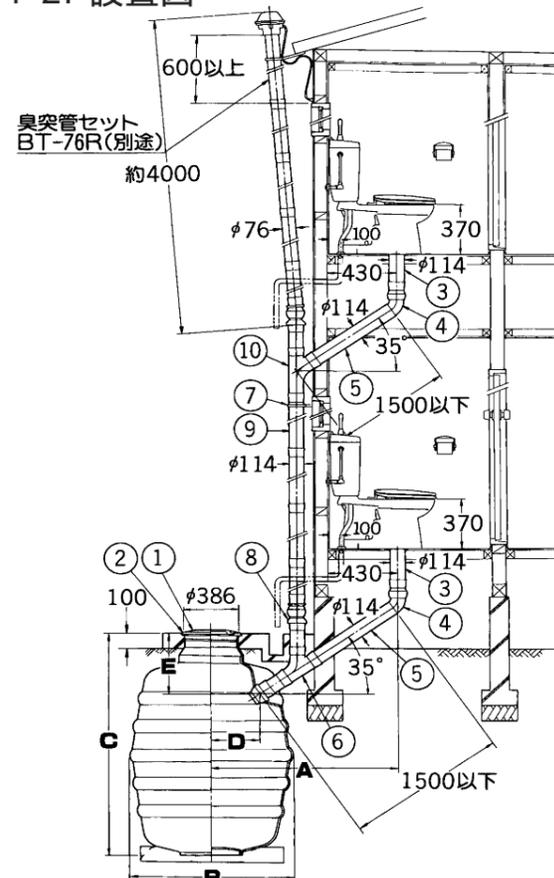
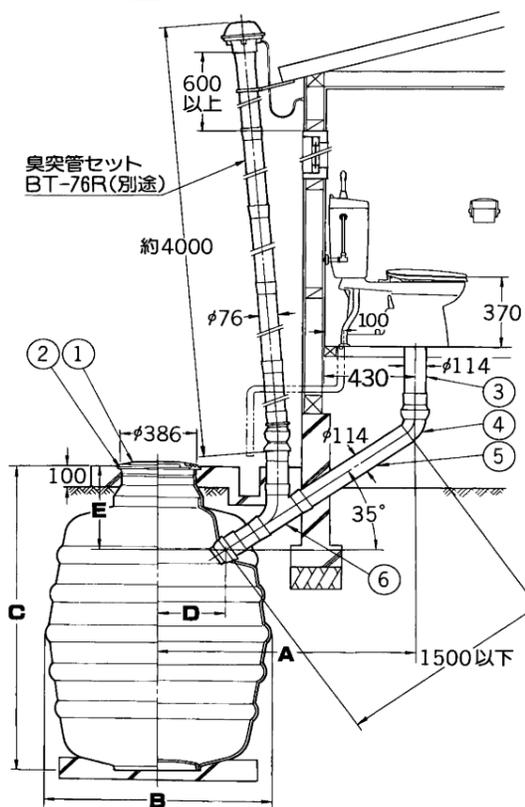
縦型用

1・2F設置図

寸法

縦型便槽の配管標準図および部品名称

1F設置図



品番	容量	家族数	寸法 (mm)				
			A	B	C	D	E
BT-600R	570L	5人以下	1200以下	870	1450	220	410
BT-800R	760L	7人以下	1250以下	980	1590	240	390
BT-1000R	950L	9人以下	1300以下	1100	1590	290	450
BT-1000RF							

付属部品内訳

部品名	品番	BT-600R BT-800R BT-1000R	BT-1000RF	材質	備考
マンホール		1	1	P.P	
マンホール枠		1	1	P.P	
導入パイプ (300mm)		1	2	P.V.C	107 x 114
導入自在エルボ		1	2	P.V.C	
導入パイプ (650mm)		1	2	P.V.C	107 x 114
導入チーズ		1	1	P.V.C	(キャップ付)
114振止め金具			1	亜鉛鋼板	
114自在ソケット			1	P.V.C	
導入パイプ (1000mm) (スリーブ付)			3	P.V.C	107 x 114
導入チーズ2F用			1	P.V.C	(キャップ付)

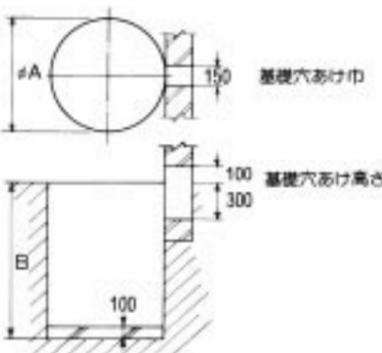
縦型便槽の施工方法

1 穴掘り作業

- 下図の埋込寸法に従って、できるだけ基礎に近づけて穴を掘ります。
- 穴の底に約100mmの厚さの捨てコンクリートを必ず敷きます。

品番	穴寸法	
	A (mm)	B (mm)
BT-600R	1,350	1,450
BT-800R	1,450	1,600
BT-1000R	1,600	1,600
BT-1000RF		

導入パイプを通すため、図のように基礎に穴をあけます。

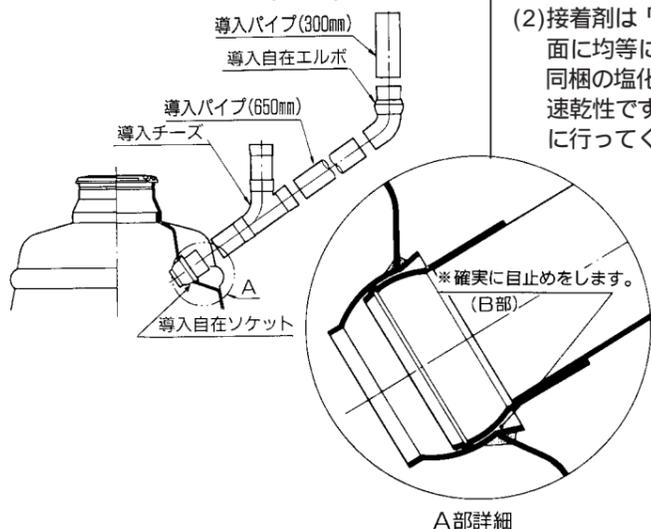


注意

導入パイプ (650mm) 部分の長さは1500mm以下、勾配は35°以上になるよう位置を決めてください。

2 仮組立て

- 組立作業の前に、槽の水平および槽の中に異物が落ちていないことを確認します。
- 導入チーズ、導入パイプ (650mm)、導入自在エルボ、導入パイプ (300mm) を仮組みし、槽本体の導入自在ソケットに取り付け、長さおよび取付角度を確認 (合印) します。



注意

導入パイプ (650mm) の途中に継ぎ手類は絶対に使用しないでください。導入パイプ切断の際、切断面は必ずバリ取り (面取仕上げ) を行ってください。この仮組みの場合、各スリーブ箇所は嵌合部まで確実に差し込んでください。接着剤を塗布した場合は、仮組み時より深く入りますのでご注意ください。

3 接着作業

- 必ず布できれいにふき取ります。
接着剤塗布部分が汚れていすると、接着効果が小さくなり、漏水の原因になります。
- 接着剤は「ヘラ」等で必ず両面に均等に引きのばします。同梱の塩化ビニル用接着剤は速乾性ですので、作業を迅速に行ってください。

注意

特にB部は同梱の塩化ビニル用接着剤を流し込み、確実に目止めをしてください。

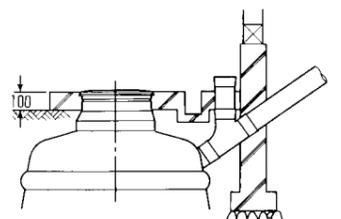
4 仕上げ作業

- 基礎の穴 (導入パイプを通した箇所) をモルタルで補修し、導入パイプを確実に固定します。
- 接着箇所が確実に固まった後、便器側から10Lの水を流し、便器から便槽間の配管より漏水しないことをチェックします。
- 埋戻しの場合、接着箇所が確実に固まってから行います。(固まっていなくて水漏れの原因になりますのでご注意ください。) なお、埋戻しの前に槽の中に半分以上の水を入れ、埋戻し土砂が落ちつき固まるまで槽本体の浮き上がりを防止します。

注意

埋戻し土砂は、石ころ等が混入しない砂質土を用いてください。埋戻し時に重機のバケットなどを槽に当てたり、高いところから埋戻しの土砂を落とさないでください。

- 槽本体の上に約100mmの厚さでコンクリートを敷き、マンホールの枠を確実に止めます。



- 便器との接続工事を後日に行う場合は、導入パイプの上端に異物などが落ち込まないように、完全にポリ袋等でふさぎます。異物等が落ち込みますと「ツマリ」の原因になりますのでご注意ください。

配管の注意事項

1. 配管材料

- (1) 管の外観・形状・材料は、JIS K 6741(硬質塩化ビニル管)によるものとし、肉厚は、污水管にあつては2mm以上、排気管にあつては1.5mm以上であること。
- (2) 継手は(1)に準ずるものとし、污水管用は、汚物の流下に支障のない形状・構造を有するものであること。ただし、継手の肉厚は、ブロー成形品に限り、少なくとも(1)の80%とすること。

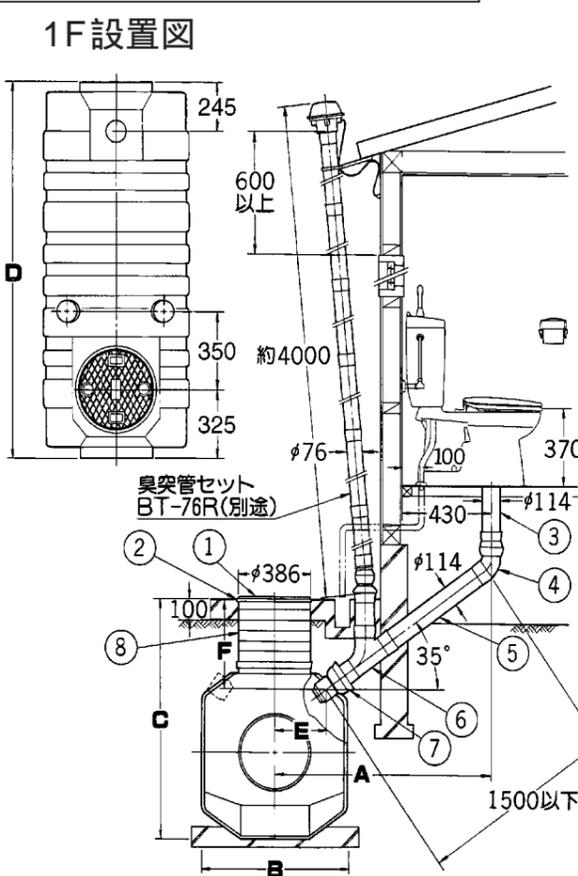
2. 排気管

- (1) 管長(直管実長)が1.5mを超える污水立て管を設ける場合は、その上部等から排気管をとるなど適切な排気装置を設けること。
- (2) 排気管の先端には、排気トップ等を設けること。
- (3) 排気トップは、防臭機能に支障を来さない性能であること。
- (4) 排気トップの下端は、建物の出入口・窓・換気口などの上端から600mm以上高い位置に設けること。
- (5) 排気管の接合部は、十分な耐久性・気密性を有すること。
- (6) 管長(直管実長)が1.5m以下の立て管で排気管を設ける場合は、(2)~(5)と同様の施工をすること。

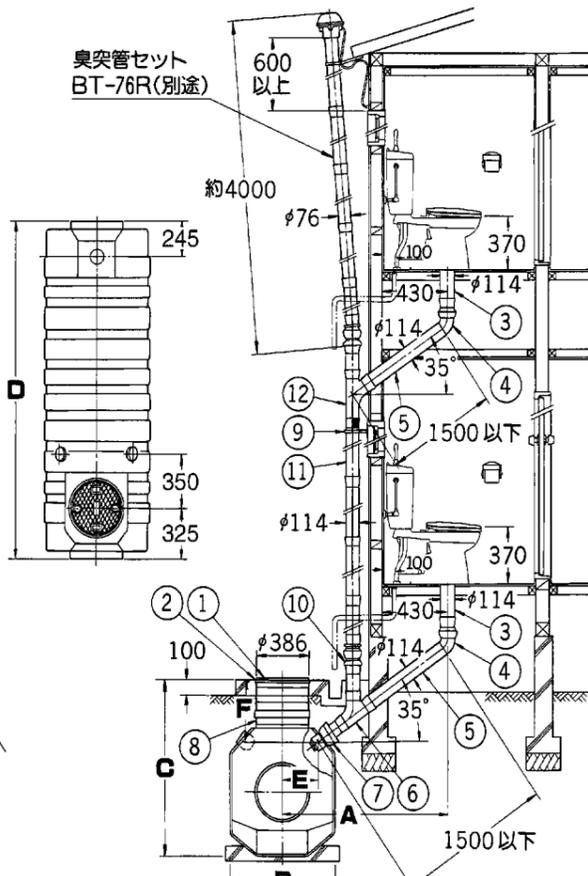
横型便槽の配管標準図および部品名称

横型用

1F設置図



1・2F設置図



寸法

品番	容量	家族数	寸法(mm)					
			A	B	C	D	E	F
BT-600SR	650L	5人以下	1100以下	745	1140	1500	230	410
BT-800SR	820L	7人以下	1100以下	745	1140	1800	230	410
BT-1000SR	970L	9人以下	1100以下	745	1140	2200	230	410
BT-1000SRF								

付属部品内訳

部品名	品番	BT-600SR BT-800SR BT-1000SR	BT-1000SRF	材質	備考
マンホール		1	1	P.P	
マンホール枠		1	1	P.P	
導入パイプ(300mm)		1	2	P.V.C	107x 114
導入自在エルボ		1	2	P.V.C	
導入パイプ(650mm)		1	2	P.V.C	107x 114
導入チーズ		1	1	P.V.C	(キャップ付)
自在ソケット		1	1	P.V.C	
マンホールアダプター		1	1	P.V.C	
114振止め金具			1	亜鉛鋼板	
114自在ソケット			1	P.V.C	
導入パイプ(1000mm) (スリーブ付)			3	P.V.C	107x 114
導入チーズ2F用			1	P.V.C	(キャップ付)

横型便槽の施工方法

1 穴掘り作業

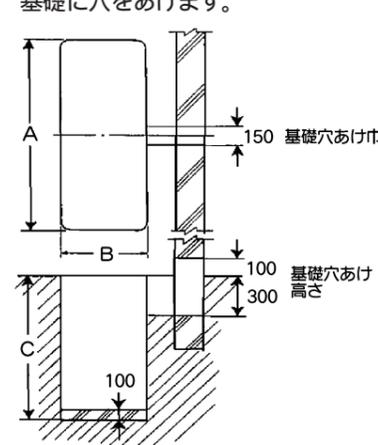
(1) 下図の埋込寸法に従って、できるだけ基礎に近づけて穴を掘ります。

(2) 穴の底に約100mmの厚さの捨てコンクリートを必ず敷きます。

埋込寸法

品番	穴寸法	A(mm)	B(mm)	C(mm)
BT-600SR		1,550	900	1,150
BT-800SR		1,850	900	1,150
BT-1000SR		2,300	900	1,150
BT-1000SRF				

導入パイプを通すため、図のように基礎に穴をあけます。



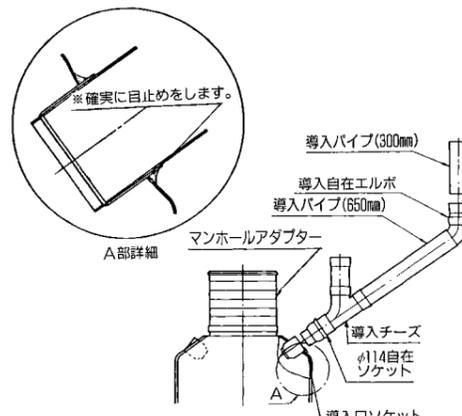
注意
導入パイプ(650mm)部分の長さは1500mm以下、勾配は35以上になるよう位置を決めてください。

2 仮組立て

(1) 組立作業の前に、槽の水平および槽の中に異物が落ちていないことを確認します。

(2) マンホールアダプターを継足しパイプソケットに取り付け、マンホールの高さを確認します。

(3) 114自在ソケット、導入チーズ、導入パイプ(650mm)、導入自在エルボ、導入パイプ(300mm)を仮組みし、槽本体の導入口ソケットに取り付け、長さおよび取付角度を確認(合印)します。



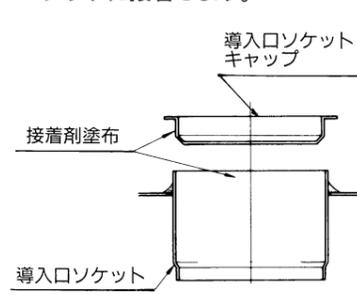
注意
導入パイプ(650mm)の途中に継ぎ手類は絶対に使用しないでください。導入パイプ切断の際、切断面は必ずバリ取り(面取仕上げ)を行ってください。この仮組みの場合、各スリーブ箇所は嵌合部まで確実に差し込んでください。接着剤を塗布した場合は、仮組み時より深く入りますのでご注意ください。

3 接着作業

(1) 必ず布できれいにふき取ります。接着剤塗布部分が汚れていると、接着効果が小さくなり、漏水の原因になります。

(2) 接着剤は「ヘラ」等で必ず両面に均等に引きのばします。同梱の塩化ビニル用接着剤は速乾性ですので、作業を迅速に行ってください。

(3) 導入口を使用しない箇所は、導入口ソケットキャップを取り外し、接着剤を塗布し、導入口ソケットに接着します。



4 仕上げ作業

(1) 基礎の穴(導入パイプを通した箇所)をモルタルで補修し、導入パイプを確実に固定します。

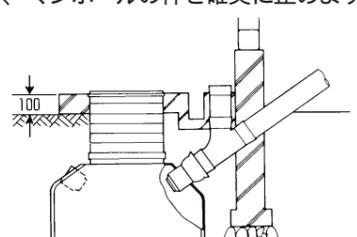
(2) 接着箇所が確実に固まった後、便器側から10Lの水を流し、便器から便槽間の配管より漏水しないことをチェックします。

(3) 埋戻しの場合、接着箇所が確実に固まってから行います。(固まっていないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。)

なお、埋戻しの前に槽の中に半分以上の水を入れ、埋戻し土砂が落ちつき固まるまで槽本体の浮き上がりを防止します。

注意
埋戻し土砂は、石ころ等が混入しない砂質土を用いてください。埋戻し時に重機のバケットなどを槽に当てたり、高いところから埋戻しの土砂を落とさないでください。

(4) 槽本体の上に約100mmの厚さでコンクリートを敷き、マンホールの枠を確実に止めます。



(5) 便器との接続工事を後日に行う場合は、導入パイプの上端に異物などが落ち込まないように、完全にポリ袋等でふさぎます。異物等が落ち込みますと「ツマリ」の原因になりますのでご注意ください。

PTW - 1003 (05040)